

しほっ
堀田湯

もう一度、銭湯を
街の“ほっ”とスポットに。

かつて街の中心には、必ず銭湯があった。

しかし、大型商業施設の誕生で、商店街は寂れ、スーパー銭湯の登場により、銭湯への客足もさらに途絶えた。今、銭湯の未来が危ぶまれている。昭和17年創業、足立区西新井「堀田湯」。この老舗銭湯も、高齢化で寂れた商店街と共に、例外なく存続の危機にあった。

堀田湯三代目の想いを込めたリブランディング。

「この街を、温める。」という三代目の想いを込めた新しいロゴを開発。誰が見ても一目で「ほっ」とするロゴにすることで堀田湯の想いを直球で伝えるアイコンになった。リブランディング後、堀田湯は一日平均600人も人が訪れる東京を代表する銭湯に躍り出た。同時に西新井の商店街にも、湯上がり客を大量送客。西新井の経済を温めることに貢献した。



